



### お客様情報



#### グレース株式会社

● 所在地  
〒151-0061  
東京都渋谷区初台2-5-8 西新宿豊国ビル 4F  
<http://www.gracehats.com/>

1991年に設立されたグレースは、レディース向けの帽子製作からビジネスをスタート。その後、さまざまな世代をターゲットとして製品のバリエーションを広げ、順調に成長を継続してきました。2001年には米国市場に進出。さらにアジア、欧州とグローバルにビジネスを拡大しています。

## グレース株式会社

### IBM SoftLayer環境で稼働するSAP Business Oneを採用し、アパレル業界の要件に対応した基幹システム環境を低コストでスピーディーに導入

帽子メーカーであるグレース株式会社（以下、グレース）は、IBM SoftLayer（以下、SoftLayer）環境上で稼働するSAP Business Oneを活用し、基幹システム環境を刷新。これは「中小アパレル業プロファイル」として提供されるサービスで、アパレル業界向けのテンプレートがあらかじめ用意されています。そのテンプレートは、色やサイズなどによる多数のバリエーションの商品管理を必要とする、アパレル業界特有の要件に対応する機能を備えており、SAP Business Oneを低コストでスピーディーに導入することが可能になります。グレースではこのシステムにより生まれるメリットをアドバンテージとして生かし、さらなるビジネス成長を目指しています。

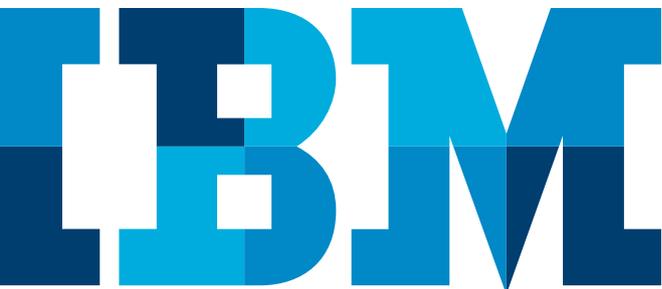
#### 国ごとに異なるシステムを採用していたためにデータの有効活用が困難

1991年に設立されたグレースは、レディース向けの帽子製作からビジネスをスタート。その後、さまざまな世代をターゲットとして製品のバリエーションを広げ、順調に成長を継続してきました。2001年には米国市場に進出。さらにアジア、欧州とグローバルにビジネスを拡大しています。グレース 財務・経理部 人事総務部 物流管理部 情報システム部 グローバルコントローラー 土田 健雄氏は同社の強みについて以下のように説明します。「グレースでは女性向け、男性向けの双方を扱い、世代についてもキッズから年配層までをフォローしているので、ワン・ストップでさまざまな製品を提供しています。従って、小売店が多彩な品ぞろえをする場合、通常であれば複数のメーカーから仕入れなければならないのですが、グレースであれば一括で仕入れることが可能になります。さらにリーズナブルな価格設定も強みとなっています」

グレースでは、日本で制作したデザインを基に、中国の委託工場11社（香港拠点経由）と日本国内の委託工場4社で帽子を製造。その製品を日本、アジア、米国、欧州の市場に向けて出荷しています。このようにグローバルにビジネスを展開するためには、情報の有効活用が欠かせませんが、グレースでは、日本と香港、米国拠点とで異なる基幹システムや会計システムを個別に運用していました。従って業務の標準化が難しい上、委託販売に伴う処理の基準が統一できず、拠点間の業績の比較ができなかったといった課題を抱えていました。

「異なるシステムを運用していましたが、求めるデータを参照するためには一旦加工する必要がありました。その過程で時間がかかってしまうという問題のほか、ミスが発生すれば数値が正確でなくなる可能性もあります。またこれまでのシステムはマルチ言語、マルチ通貨に対応していなかったため、言語や通貨を置き換える作業が必要となり、業務効率低下の要因となっていました。さらにはSQLを活用したレポート作成にも対応していなかったため、情報の有効活用が困難な状況でした。こうした課題を解決することで、リードタイム短縮などによるコスト削減も期待できると考えました」（土田氏）。

そのほかにも、商品の在庫再評価が困難だったこと、ガバナンスが効かなかったことなど、既存システムではさまざまな課題を抱えていました。



## 事例概要

### 【課題】

- グローバルで異なる基幹システムを活用していたため、業務の標準化が困難で、情報活用にも大きな手間を要していた。
- マルチ言語、マルチ通貨に対応していなかったため、それらを置き換える作業に手間を要していた。
- オンプレミスでERPを導入するためには膨大なコストが必要だった。

### 【ソリューション】

- あらかじめアパレル業界向けのテンプレートが用意されたSAP Business OneをIBM SoftLayer環境上で活用することで低コストでの導入を実現。
- 「中小アパレル業プロファイル」を活用することでスピーディーなシステム稼働開始を実現。

### 【メリット】

- 導入コストに加えてランニングコストも低く抑えることが可能。
- メンテナンスの負荷から開放され、システム管理に関わる不安を解消。
- 高速のネットワークを活用できることから、グローバルでの活用に対応。

## 低コスト、短期間で導入可能な「中小アパレル業プロファイル」を採用

こうした課題を解決するため、グレースでは2012年から新たな基幹システム導入の検討を開始。そこで本格的なERP(Enterprise Resource Planning)の導入を検討したものの、アパレル業界特有の要件に対応したシステムをオンプレミス環境で導入することは膨大なコストと時間を要することから、事前にグローバルの拠点間での合意形成が必要となりました。しかし、グローバルで業務の標準化が進んでいない状況下で意見をまとめることは難しく、新システムの検討はなかなか進展しませんでした。

「オンプレミスでERPを導入する場合、さまざまなソフトウェアをサーバーで稼働させる必要があるため、導入コストだけではなくそれらの運用コストも膨大な額になってしまいます。グローバルで意見が集約できない状況で、ERPの導入に踏み切ることができませんでした」(土田氏)。

こうした状況が続く中、2014年秋にSoftLayerの新しいサービスとして、「業界業務プロファイル」が発表されました。「業界業務プロファイル」は業界特有の要件に対応したシステム構成、運用機能設計、セキュリティ情報などをあらかじめSoftLayer上に組み込んだ上で提供するサービスで、ユーザーは最適なクラウド環境を迅速に構築し、短期で業務を開始することが可能になります。

「中小アパレル業プロファイル」は、IBMが推進する「業界業務プロファイル」の1つで、アパレル業界に対応したテンプレートについてはロータスビジネスコンサルティング株式会社(以下、ロータスビジネスコンサルティング)が開発しました。SAP Business Oneに事前に開発したアパレル業テンプレートを組み込んだ形で提供し、迅速かつ低コストでアパレル業界固有の要件に対応した基幹システムを構築することができます。

ロータスビジネスコンサルティング 代表取締役会長 高鍋 水城氏は「中小アパレル業プロファイル」をグレースに提案した経緯について説明します。

「2014年の秋に『中小アパレル業プロファイル』をはじめとした『業界業務プロファイル』をSoftLayer向けに開発し、クラウド・ビジネスを推進していくことで日本IBMと合意しました。それから1カ月程度でプロファイルを開発し、12月半ばにはご提案できました」

この提案はグレースにとって非常に画期的なものでした。

「オンプレミスで導入する場合、3,000万円前後の初期費用が掛かる上、開発には半年から1年程度の期間が必要でした。しかし、SoftLayerの『中小アパレル業プロファイル』を活用すれば、初期費用は数十万円で済みます。これまでもクラウドによるERP活用の方法はあったのですが、コストについてはオンプレミスよりもかえって膨らんでしまうケースがほとんどでしたので、この提案はとても画期的だと思いました。またアパレル業界向けのプロファイルが用意されているので、短期間で導入も可能です。すぐに採用を決めたのですが、断る理由が見当たりませんでしたね」(土田氏)。

そのほかに、移転にも簡単に対応可能であること、メンテナンスが不要であること、OSやミドルウェアなどのバージョンアップを気にする必要がないこと、プライベート・クラウドへの移行が可能であることなどが評価され

## SKU単位での商品管理を可能にする中小アパレル業プロファイル

アパレル業固有の以下の処理がSoftLayerが提供する「業界業務プロファイル」で提供されるため標準で利用できる

- アイテム・コードは、「スタイル」+「SKU」の組み合わせとなる
- 在庫管理の単位は、「スタイル」+「SKU」で管理される

### 【アイテム・マスターの自動登録の実現方法】

ユーザーテーブルに「スタイル」の情報を保持させる

001	スタイル1
002	スタイル2
003	スタイル3
004	スタイル4
005	スタイル5
006	スタイル6

- ①上記の画面(イメージ)で必要なサイズ、色にチェックを付与
- ②[登録]ボタンをクリックすると、別途用意されたユーザーテーブルの情報との組み合わせで、アイテム・コードを生成する

【アイテム・コード(SKU)の登録例】

1	001BKBS
2	001BKML
3	001BKLL
4	001REDS
5	001REDM
6	001REDL

---

“IBM SoftLayerの『中小アパレル業プロファイル』を活用すれば、初期費用は数十万円で済む上、アパレル業界向けのプロファイルが用意されているので、短期間で導入可能です。すぐに採用を決めたのですが、断る理由が見当たりませんでしたね。”



グレース株式会社  
財務・経理部  
人事総務部  
物流管理部  
情報システム部  
グローバルコントローラー

土田 健雄 氏

---

“世界中にアクセス・ポイントとデータセンターがあるSoftLayerはお客様に対して大きな付加価値を生み出すこととなります。そこに『業界業務プロファイル』を組み込むことで、ほかのクラウド・サービスと差別化を図ることができるでしょう。”



ロータスビジネスコンサル  
ティング株式会社  
代表取締役会長

高鍋 水城 氏

提案の翌日にはテスト導入として3ライセンスの契約を交わしました。その後帳票類などについて若干のカスタマイズと旧環境からのデータ移行の作業を開始。年明けの1月7日には稼働がスタートしました。

「アパレル業における商品管理では、一つのアイテムに対して、色やサイズ別にさまざまなバリエーションがあることが大きな特徴として挙げられます。つまりアイテム単位ではなく、色やサイズ別の最小管理単位 (Stock Keeping Unit: 以下、SKU) に対応できることがシステムには求められます。こうしたSKU管理の仕組みを白紙の状態から作り上げることは非常に手間が掛かり、バンダーによっては難色を示すケースもあるのです。『中小アパレル業プロファイル』ではこの仕組みがあらかじめ用意されているので、安心して活用することができ、短期間での導入が可能になりました」(土田氏)。

### ランニング・コストを削減しながら、メンテナンスの負荷からも開放

グレースでは2015年1月から3ライセンスでの活用を開始していますが、約2カ月間テストを行った結果、さまざまなメリットを実感しています。

「旧システムは社内LAN環境上で稼働していましたが、クラウドで稼働する新システムはどこからでもアクセスできるので、移転などにも柔軟に対応することができますし、海外拠点への展開も容易に可能です。操作についてはまだ不慣れな部分がありますが、これは時間が解決してくれると思っています」(土田氏)。

今後ライセンスを増やし、国内外に適用を広げていくことで、さらなるメリットを見込むことができると土田氏は言います。

「例えば香港の生産拠点でもこのシステムを活用するようになれば、リードタイムの短縮が可能になるでしょう。現在設計から製造、出荷までに約6カ月を要していますが、新システムを有効に活用することで最低でも半分程度にまで短縮することを目指しています」ライセンスを追加することでランニング・コストは現在よりも増えることとなりますが、それでもオンプレミスに比べて大きなコスト・メリットがあると見込んでいます。

「グローバルで導入する場合、時差を利用することである程度ライセンス数を節約できるのではないかと見込んでいます。一方、オンプレミスで導入した場合でも、メンテナンスのためのコストが必要になるので、一定のランニング・コストが発生します。これらを勘案するとランニング・コストの比較でもSoftLayerの『中小アパレル業プロファイル』を活用した方が低コストに抑えられると試算しています。またオンプレミスの場合は、システム・ダウンなどのトラブル対策をはじめ、OSのサポート切れやミドルウェアのバージョンアップなど、さまざまな不安を抱えながら運用していくこととなりますが、クラウドであればそうした心配は一切不要になります。これは精神的にも大きなメリットになると思っています」(土田氏)。またSoftLayerは世界各地を結ぶ高速ネットワークが利用できることから、グローバル拠点に展開する際のメリットも大きくなります。この点について高鍋氏は強調します。

「近年は企業の規模にかかわらずグローバルでのビジネスが推進されるようになっていますが、その傾向に対応するために、わたしたちはグローバルで展開するクラウド・ビジネスを目指しています。そしてSoftLayerは世界中にアクセス・ポイントとデータセンターがあるので、そうしたグローバル・ビジネスを推進するお客様に対して大きな付加価値を生み出すこととなります。そこに『業界業務プロファイル』を組み込むことで、ほかのクラウド・サービスと差別化を図ることができるでしょう。この点がIBMと協業してクラウド・ビジネスを推進していくと決めた理由にもなっています。今後もほかの業種のプロファイル開発を進めるなど、積極的に取り組んでいきたいと考えています」

### クラウドによるERPを活用するアドバンテージを生かしてさらなるビジネス成長を目指す

グレースでは今後このシステムを本格的に活用していくために、「配分機能」の開発を依頼していると土田氏は言います。

---

## パートナー情報

### ロータスビジネスコンサルティング株式会社

● 所在地

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町 1-16-11 SFビル

ロータスビジネスコンサルティング株式会社は、2005年に設立。内部統制体制の構築、IFRS対応、ビジネス・プラットフォームの統一、経営の可視化などの課題解決に向けて、SAP ERP、SAP Business Oneなどの定評のあるERPシステムのグローバル展開をサポート。これまでに100件以上の実績を積み重ねています。

---

「香港経由で製造された商品が日本に入荷すると、取引先からのオーダーに応じて優先順位などを考慮しながら配分を決める必要があります。取引先数は、頻度が少ないお客様も含めると約800社になります。また商品についてはシーズンごとに1,250SKU程度を製造していますので、この配分作業を手動で行うことは非常に大きな負担となります。そこでこれをシステムで自動的に行う仕組みの開発をお願いしています」

今回クラウドでのERPを導入したことによるビジネス展望について、土田氏は以下のように語ります。

「ERPは基幹業務を管理する目的のものなので、これを導入したからといってすぐに売上が向上することはないでしょう。しかし、情報を有効利用することで的確な経営判断を素早く行うことができるというメリットが期待できます。ERPを導入している中小規模の企業はまだ少ない状況にありますので、これは大きなアドバンテージになるでしょう」

また今後グローバルで新たな拠点を増やしていく際も、クラウドを活用していることのメリットは大きくなります。

「今後、アジア、欧州などでの販売を強化する取り組みを展開していく予定ですが、新たな現地法人を設立することも視野に入れていきます。そうした場合、クラウドであれば新拠点にシステムを容易に展開することが可能です。そしてあたかも同じフロアで業務を推進しているかのように、グローバル拠点間での連携を強化し、例えばレポートなどもリアルタイムで参照することができるようになるでしょう。このメリットは非常に大きいと考えています」

グレースは、今後も情報の有効活用を推進し、グローバルでのビジネスを発展させ、さらなる成長を実現していくでしょう。

詳細情報は下記のWebサイトをご覧ください。

#### IBM SoftLayerについて

[ibm.com/cloud-computing/jp/ja/softlayer.html](http://ibm.com/cloud-computing/jp/ja/softlayer.html)

#### 業界業務プロフィールについて

<http://www.ibm.com/cloud-computing/jp/ja/cloudprofile.html>

#### Cloud One for SAP Business Oneについて

<http://www.lotusbc.co.jp/cloudone/lp/>



---

©Copyright IBM Japan, Ltd. 2015

### 日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Printed in Japan

April 2015

All Rights Reserved

このカタログの情報は2015年4月現在のものです。仕様は予告なく変更される場合があります。記載の事例は特定のお客様に関するものであり、全ての場合において同等の効果が得られることを意味するものではありません。効果はお客様の環境その他の要因によって異なります。製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくはビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。IBM、IBMロゴ、ibm.comは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corp.の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBM商標リストについては[www.ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml)をご覧ください。

---